

## 権利擁護部会 報告書

会議名	第1回 権利擁護部会		
開催日時	令和5年7月6日(木) 10時~12時		
開催場所	板橋区役所 南館6階 教育支援センターAB		
出席者数	14名(欠席1名)	傍聴者数	2名

## 報告事項(4件)

議題名	障がい者差別の相談等受付状況
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の障がい者差別に関する相談受付件数、相談事例概要を報告。(令和5年3月末日時点での件数を報告)</li> <li>板橋区障がい者実態調査のうち、差別や権利擁護等に関する項目のアンケート結果を報告。</li> </ul>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果で差別経験ありと回答した障がい者(児)の比率に対して、相談件数が少ないと感じる。声を挙げにくい人が相談できる環境を作っていくことが大事。</li> <li>クレーマーと認識されるのではないかという思いから、障がい者(児)自身や保護者から直接相手方に思いを伝えることをためらう場合もある。</li> <li>対応終了後も、区から相談者へ連絡をして現状を確認するなどのアフターフォローが必要。</li> </ul>
今後の方向性	今後も相談・通報内容および対応状況を報告していく。

議題名	障がい者虐待の通報等受付状況 / 障がい者虐待の対応状況について
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の障がい者虐待に関する通報件数、障がい種別等の内訳を報告。(令和5年3月末日時点の数値を報告)</li> <li>虐待認定した事例および、虐待認定以外の事例概要と対応状況を報告。</li> <li>東京都全体と板橋区の虐待認定件数を比較し、分析した区の傾向を報告。</li> </ul>
主な意見・質問/回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>1件の事例につき、複数の虐待種別に該当するような事例が増えていると感じた。</li> <li>令和4年度から開始した夜間等相談窓口について、相談受理後の流れが知りたい。→翌開庁日に障がい政策課へ相談の受付内容を報告してもらおう。緊急性が高いと受付者が判断した場合は、直ちに障がい政策課に連絡し、区が早急に対応する体制。</li> <li>東京都全体と比較して、板橋区は使用者による虐待件数の割合が高い。どのような虐待内容だったのか。→申請漏れで最低賃金以下の給与だった、書類の渡し漏れがあった等、手続き関係での漏れが労働基準監督署の監査で発覚した事例が多い。</li> </ul>
今後の方向性	引き続き当部会で、虐待の通報状況について、報告していく。

議題名	令和5年度事例勉強会の実施について
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例勉強会の概要と開催時期の目途を報告した。(令和5年10月4日に第1回事例勉強会を実施。)</li> <li>令和5年度は、事例勉強会を通して他部会と連携する方向性を示した。</li> </ul>
主な意見・質問/回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>他部会員との連携はどのような経緯で検討されたのか。また、他部会員も勉強会に参加するにあたって、人数の規模はどの程度を想定しているのか。 →自立支援協議会本会にて、権利擁護部会と他部会との連携を希望する意見があった。他部会員へ事例提供や勉強会への参加といった協力を依頼していきたい。人数の規模については、具体的な人数は未定だが、参加者が大人数になった場合はグループワーク等で活発な意見交換が行えるよう工夫する。</li> <li>障がい当事者部会には様々な事例や経験を持った方がいる。部会全体として連携していきたい。</li> <li>障がい児部会からも連携していきたいという声をもらっている。他部会とのディスカッションを通じて、権利擁護を進めていきたい。</li> </ul>
今後の方向性	事例勉強会にて検討した内容や参加者からの意見等を、第2回以降の権利擁護部会で報告することで、参加者以外へも共有を図る。

## 協議事項(2件)

議題名	第9期権利擁護部会の活動計画
概要	第9期の協議事項と今後のスケジュールについて報告した。
主な意見	特になし。
今後の方向性	スケジュールに沿って部会を運営する。

議題名	令和5年度障害者差別解消法セミナーの素案について
概要	講師、講演内容、開催方法等について報告した。
主な意見	板橋区の公式 SNS も活用して周知してもらいたい。
今後の方向性	今後も、セミナーの進捗状況について報告していく。